

翔陽 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 高校生の音楽Ⅰ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わうことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
歌唱『校歌／日本のポピュラー音楽』 バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を身につけ、曲想と歌詞との関わり、旋律の特徴、言葉の抑揚を理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫して歌う	・ 歌うときの姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ・ 歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ・ 旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する	○				【知識及び技能】 ・ 曲想と歌詞との関わりについて理解している ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	5
器楽<<ギター>>『きらきら星変奏曲』 変奏曲や編曲について理解するとともに、《きらきら星》の旋律をもとに創意工夫して器楽合奏に親しむ	・ ギターの構造や基礎的な奏法を理解する ・ ギターで音階を演奏する ・ イメージをもって《きらきら星》の変奏曲を演奏する ・ 完成した作品をグループごとに発表する		○			【知識及び技能】 ・ ギターの基礎的な知識、技能を習得する ・ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを表現する技能を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 個人や器楽アンサンブルで演奏することに興味をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている	○		○	10
歌唱<<西洋のうた>>『Caro mio ben/サンタ・ルチア』 イタリア語の発音の特徴や、リズムと旋律との関わりを理解し、歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して歌唱する	・ イタリア語の発音の特徴を理解する ・ イタリア語のアクセントやリズムと旋律との関わりを理解する ・ 歌詞の内容を理解し、表現を工夫して歌う	○				【知識及び技能】 ・ 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ イタリア語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	4
楽典『楽譜、音名、音符と休符』 音楽を味わうのに必要な要素となる楽譜や音に関する知識を理解する	・ 楽譜のしくみを理解する ・ 英・独・伊・日の音名を理解する ・ 音楽表現記号を理解する ・ 音符や休符といった、音楽を再現するために必要な知識を理解する			○		【知識及び技能】 ・ 音楽を味わうために必要な要素となる知識を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 知識を学ぶために積極的に取り組んでいる	○		○	5

2 学 期	<p>リズム創作『クラッピング カルテット 第1番』</p> <p>手拍子やボディーパーカッション、唱歌、打楽器などを用いて音色を工夫したり、リズムパターンを即興で変化させたりして、表現を創意工夫してリズム合奏する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを組み、『クラッピングカルテット』を演奏できるようにする ・リズムパターンを躍動感をもって表現する ・手拍子やボディーパーカッション、唱歌、打楽器などを組み合わせて、リズムパターンを音色豊かに、生き生きと演奏する ・音の素材やリズムを工夫し、テーマを表現する 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と楽器の音色やリズムとの関わりについて理解している ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている 	○	○	○	8
	<p>合唱</p> <p>自分にとってイメージが湧きやすい詩、短歌、俳句などを選んで、音楽のもとになる「サウンドピース」や「メロディーの骨格」をつくり、それをもとに自己のイメージをもって創意工夫して音楽をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詩、短歌、俳句などをもとにイメージを膨らませて、音楽で表現する ・音素材を選び、「サウンドピース」や「メロディーの骨格」をつくる ・音楽を形づくっている要素を手がかりに、自分のイメージに合うように音楽をつくる 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩、短歌、俳句から感受したイメージに基づきながら、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽を作る技能及び、旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けたりする技能を身に付けて、創作で表現している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージと音楽との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている 	○	○	○	6
	<p>楽典『拍子、音程』</p> <p>音楽を味わうのに必要な要素となる楽譜や音に関する知識を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・拍と拍子の違いを理解する ・音の構造を理解する ・音程の概念を理解する 		○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を味わうために必要な要素となる知識を身に付けている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識を学ぶために積極的に取り組んでいる 	○		○	10
	<p>鑑賞『民族音楽』</p> <p>世界各地の民族音楽に触れ、特徴を理解し、楽器や背景などとの関わりについて理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民族音楽の概要を理解する ・世界の民族音楽や楽器の名称とその特徴を理解する ・『ケチャ』の体験をする 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民族音楽の概要と、世界の民族音楽や楽器の名称とその特徴を理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、同時に、音楽表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を自ら味わって聴いている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民族音楽に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている 	○	○	○	6
	<p>鑑賞『日本の民謡と民俗芸能』</p> <p>日本の民謡や民族芸能の分類を知り、民謡で用いられる音階の特徴やリズム様式を理解した上で、用いられている楽器、衣装、踊りなどの特徴を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の民謡や民俗芸能の分類を学ぶ ・民謡のさまざまな音楽を聴く ・民謡の特徴について調べ、民謡で用いられる音階の特徴やリズム様式を理解する ・音楽だけでなく、用いられる楽器、衣装、踊りなどの特徴を理解する 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴及び文化的・歴史的背景について理解している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、同時に、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民謡の音楽や文化に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている 	○	○	○	6

3 学 期	鑑賞『音楽の聴き方』 ポレロについて、曲の構成や工夫を知り、音楽の聴き方を学び、様々な奏者の演奏や現代音楽を聴き、表現の自由や多様さを感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・ポレロの特徴や曲の構成や工夫を知る ・様々な奏者の演奏や現代音楽を聴き、表現の自由や多様さを感じる 				○	【思考力、判断力、表現力等】 ・曲の構成や工夫を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 ・ポレロや現代音楽に興味・関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている				○	○	2
	鑑賞『ポピュラー音楽』 音楽に関する知的財産権＝著作権 ポピュラー音楽のジャンルや、歌詞に込められたアーティストの主張を理解し、曲にふさわしい歌い方や表現を創意工夫してポピュラー音楽に親しむとともに、芸術活動を支える著作権について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・ポピュラー音楽のジャンルを理解する ・ジャズの歴史を知り、鑑賞能力を高める ・ジャズを鑑賞し、歴史やその特徴と照らし合わせながら味わう ・芸術活動を支える著作権について理解する 				○	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している ・ジャズの歴史や特徴について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌ったり演奏するかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ポピュラー音楽や音楽の著作権に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている				○	○	2
	日本歌唱『夏の思い出/待ちぼうけ/この道』 鼻濁音や、s音やt音などの子音の発音について学ぶとともに、歌詞の内容や曲の背景を理解し、強弱などに注意して曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻濁音やs音、t音などの子音に注意し、日本語の美しい発音に留意して歌う ・日本歌唱の特徴を理解する ・歌詞の内容を理解し、作曲者の強弱の指示をもとに、ふさわしい表現を工夫して歌う 				○	【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱している 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている				○	○	○
											合計	70	

翔陽 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

使用教科書：（美術 1 光村図書

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】

美術作品、造形物、自然物、生命感や心情、精神的・創造的価値等を認識し、造形的な視点について理解を深めるとともに、表現の意図に応じて材料や用具の特性を生かしたり表現方法を工夫したりするなどして、創造的に表す技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術作品、造形物、自然物、生命感や心情、精神的・創造的価値等を認識し、造形的な視点について理解を深めるとともに、表現の意図に応じて材料や用具の特性を生かしたり表現方法を工夫したりするなどして、創造的に表す技能を身につける。	主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする。	主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵・ 彫	デ	映						
【絵画】自画像	内容：自身の顔を見つめ、漫画調になることなく素直に自分自身を描く。丁寧な観察を何より大切に、てらいなく紙面に表現する。 指導事項：構図、光の捉え方、鉛筆の基本的な使用方法等 教材：鏡（一人1台）、鉛筆、半紙	○			○	・てらいなく自らを見つめ、丁寧な観察から得た情報を自身の心情などを踏まえ積極的に表現しようとする ・鉛筆の特性を生かし、グラデーションによる陰影表現で対象を表現することができる ・対象を丁寧に観察し、形態のバランス、光、量感などを見極め、画面上に表現することができる	○	○	○	6
【絵画】風景画	内容：自身の周りに広がる風景に興味を持ち、その中で気になる風景を色鉛筆によって描く。狙いにより効果的な構図等を選び、丁寧な観察を大切に、描くことを目指す。 指導事項：構図、光の捉え方、重色技法等 教材：色鉛筆、画用紙	○			○	・積極的により良い作品を制作しようとする ・自身の狙いに応じてより良い場所（視点）、構図を選ぶことができる ・観察や自らの感性で感じ取ったものを、使用する画材の特性を生かし、創意工夫しながら表現することができる ・丁寧でなにより強い観察より得られたものを、重色技法を用いて表現できる	○	○	○	6
【デザイン】レタリング・絵画技法	内容：次課題のポスター制作に必要な技法等を学ぶ。 指導内容：レタリングの効用、制作方法、絵の具による平塗り、グラデーション等の方法 教材：アクリル絵の具、画用紙、定規		○			・レタリングの持つ効用を理解し、平塗り技法を用いて美しいレタリングを制作できる ・既存の書体から変形させる際、創意工夫しながら、より意欲を持って制作に臨むことができる ・絵の具によるグラデーション表現など、デザイン技法に興味を持ち、積極的に取り組む	○	○	○	6
【デザイン】翔陽祭ポスター	内容：ポスターの効用を理解し、翔陽祭（文化祭）用のポスターを制作する。優秀作は学外掲示の可能性があるので、著作権についても留意しながら制作する。 指導内容：デザインの発想方法、絵の具による技法各種等 教材：アクリル絵の具、画用紙、定規、コンパスなど			○	○	・ポスターの効用を理解し、自校の特性とポスターという特性を踏まえた上で独自のデザインを考案できる ・絵の具の特性を踏まえた上で効果的な技法を用いて創意工夫をし、制作できる ・積極的に創意工夫をし、より良い作品を制作しようとする	○	○	○	10

2 学 期	【映像メディア】 絵コンテ	内容：映像作品における絵コンテの役割を学び、自身でも絵コンテを制作する。ストーリーの考案、カメラワーク等を意識しながら制作する。 指導内容：絵コンテについての説明 教材：プリント、画用紙、色鉛筆				○	○	○	○	○	○	4
	【彫刻】 木彫	内容：立体であることを意識し、平面ではできない立体ならではの表現を目指し、デザインの考案、彫りによる彫刻を行う。彩色等、仕上げの方法も学ぶ。 指導内容：立体デザイン法、彫刻技法 教材：木彫用木箱、彫刻刀、アクリル絵の具、ニス等				○	○	○	○	○	○	18
3 学 期	2学期 【絵画】 デッサン (グラデーション課題を含む)	内容：次の課題である日本画に先立って、テーマに沿って自身で選んだモチーフを描く。1年間学習した成果を踏まえ、心を込めて描くことを旨とする。 指導内容：箔張り技術、水彩画技法等 教材：日本画ボード、金箔、アクリル絵の具等				○						6
	【絵画】 日本画	内容：日本画の伝統技法である箔張りの技術を学び、テーマに沿って自身で選んだモチーフを描く。1年間学習した成果を踏まえ、心を込めて描くことを旨とする。 指導内容：箔張り技術、水彩画技法等 教材：日本画ボード、金箔、アクリル絵の具等				○						14
											合計	70

翔陽 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（書道 I 東京書籍）

教科 書道 I

の目標：

【知識及び技能】書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の幅広い表現や鑑賞の活動を通して、習得されたり活用されたりする知識と効果的に表現するための技能を身に付ける。	作品の構想と表現の工夫、鑑賞における思考、判断を身に付ける。	主体的に学習に取り組む態度、生涯にわたり書を愛好する心情を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
A 書写から書道へ 【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・指導事項 書写で学んできたこと。用具・用材。漢字の書の成立と変遷。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○		○	○	○	4
		B 漢字の書 楷書 【知識及び技能】表現・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。鑑賞・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組む。	○	○	○	○		○	○	○

<p>C 創作 表現の使い分け 鑑賞</p> <p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとできる。</p>	<p>・指導事項 古典を生かそう。書の美や風趣を味わおう。</p> <p>・教材 教科書 書道道具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>4</p>
<p>D 漢字の書 行書</p> <p>【知識及び技能】行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとすることができる。</p>	<p>・指導事項 行書の特徴 「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」</p> <p>・教材 教科書 書道道具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>16</p>
<p>2 学期</p> <p>E 創作 四字熟語 鑑賞</p> <p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとできる。</p>	<p>・指導事項 古典を生かそう。書の美や風趣を味わおう。</p> <p>・教材 教科書 書道道具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>4</p>

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅲ

教科：芸術 科目：音楽Ⅲ 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択者

使用教科書：（Joy of Music（教育芸術社））

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	鑑 賞 創					
鑑賞『古典派音楽』 【知識及び技能】 ソナタ形式について理解し、演奏に生かすことができる 【思考力、判断力、表現力等】 大作曲家と呼ばれる人物について調べ、その人間性と工夫が楽曲中に表れている点を指摘し、説明できる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に研究を進めることができる	・三大古典派作曲家であるハイデン、モーツァルト、ベートーベンについて、特徴と時代背景を調べる ・それぞれの人物の特徴が表現されている楽曲について、実際に演奏とともに解説を行う ・一人1台端末の活用			○	観察、レポート、発表	○	○	○	4
鑑賞『ミュージカル』 【知識及び技能】 ミュージカルの特徴を理解し、表現することができる 【思考力、判断力、表現力等】 ミュージカル特融の表現力を自分なりの解釈によって実践で示し、その工夫について説明ができる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に諸活動に参加する	・ミュージカル『ウエストサイドストーリー』より『アメリカ』 ・ミュージカル『CATS』より『メモリー』	○		○	実技、レポート	○	○	○	5
1 学 期 楽典『音程、音階、コード、和声進行』 【知識及び技能】 ・音程について理解し、正確に答えることができる ・長（短）音階とその調号について、正確に答えることができる ・代表的な三和音・四和音を理解する ・和声進行について理解し、カデンツを使った簡単な作曲ができる 【学びに向かう力、人間性等】 筆記試験で理解を示すことができる	・プリント			○	筆記	○		○	10
ソルフェージュ 【知識及び技能】 簡単なメロディー聴音ができるようになる 正確な音高で歌うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 難関な課題に対し、積極的に取り組むことができている	・メロディー調音 ・コールユーブンゲン	○	○		実技	○		○	5

